



## 4 天満天神社

菅原道真をお祀りしている社(西花尻279)



正式には天満大自在天(没後の菅原道真を神格化した呼称)神社

菅原道真を祭神とし、15世紀ごろ、吉井大和守がこの地への移住に際し、氏神として奉斎したとされる。この地域には吉井姓の子孫が多く在住している。ある子孫の話では先祖は播磨から来たと言い伝えられているとのこと。大和守がいかになる人かはわからない。

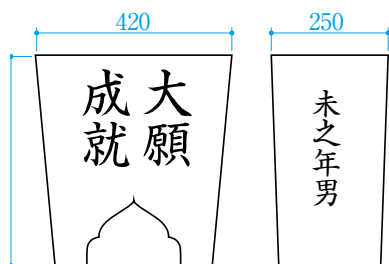
昭和18年(1943)には、しんせんへいはくりょうきょうしんじんじや神饌幣帛料供進神社に指定されている。

※神饌幣帛料供進神社: 明治から終戦まで、勅令に基づき県令によって県知事から祈年祭、新嘗祭、例祭に神饌幣帛料を供進された郷社や村社を指す

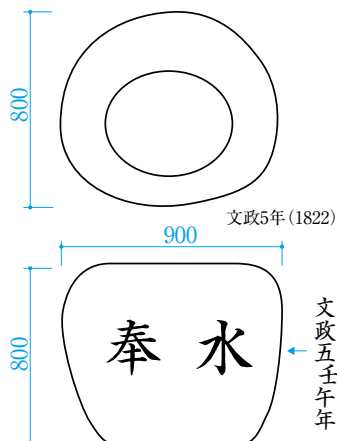




## 手水鉢 拝殿前

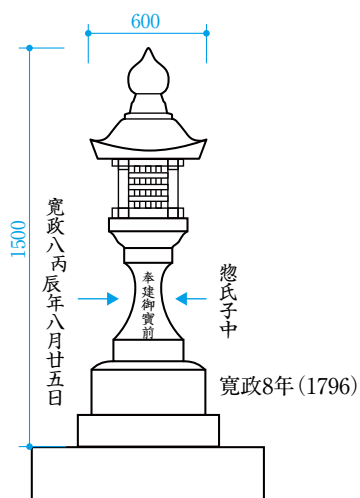


## 手水鉢



## 石燈籠

豊島石造りで左右対

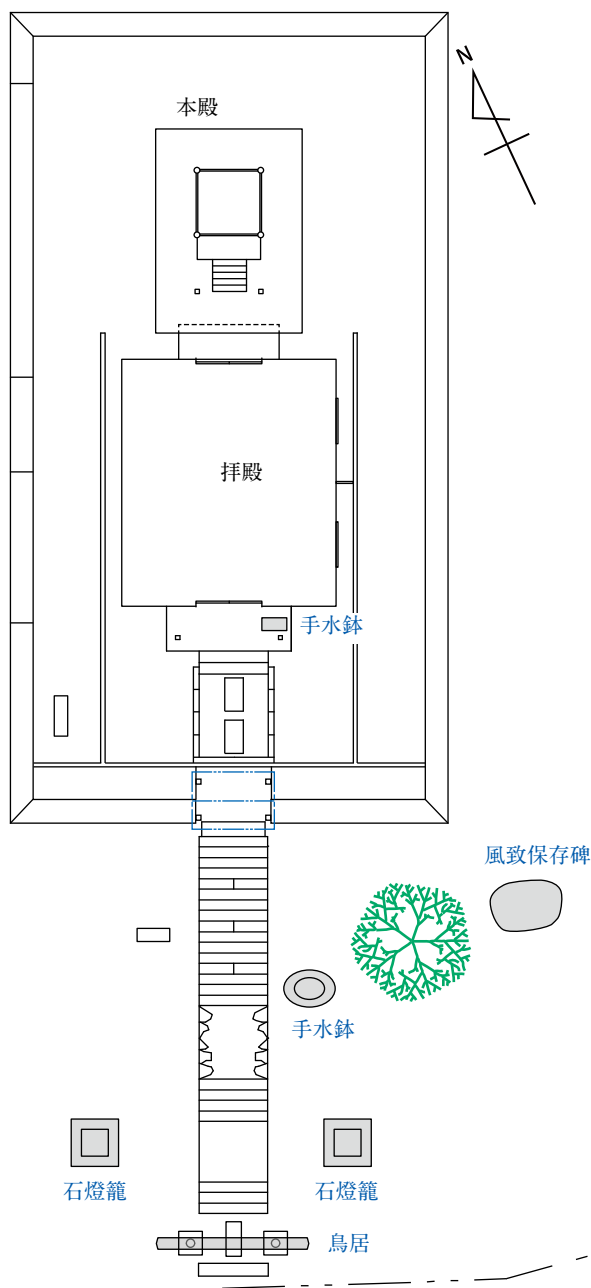


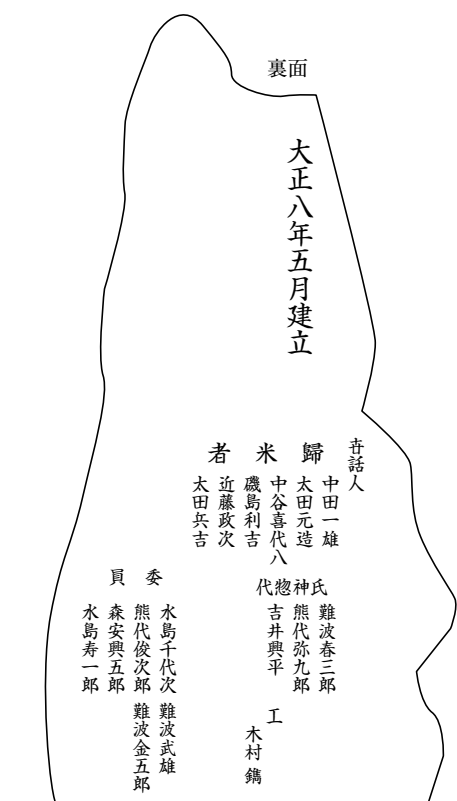
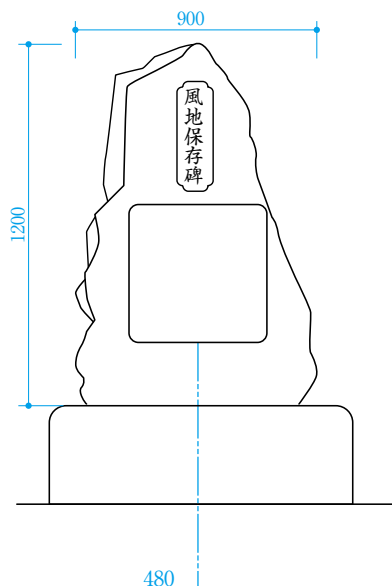
## 鳥居 (石華表)

華表(かひょう)は鳥居の意。石造りの鳥居を石華表(せっかひょう)とも言う。



築泥堀 幅8100×奥行19540





|    |              |       |            |       |
|----|--------------|-------|------------|-------|
|    | 都窪郡撫川町大字新ヤシキ | 一全    | 當村<br>磯島清吉 | 一金十円  |
| 一全 | 金拾五円         | 太田銀次郎 | 一全         | 磯島金吉  |
| 一全 | 金拾五円         | 難波彦四郎 | 一全         | 中田篤雄  |
| 一全 | 金拾二円         | 江尻安次郎 | 一全         | 磯島勇次郎 |
| 一全 | 金拾五円         | 吉井照太郎 | 一全         | 江尻梅吉  |
| 一全 | 金拾五円         | 吉井弥市  | 一全         | 難波□男  |
| 一全 | 赤木喜太郎        |       |            |       |
| 一全 | 江尻大助         |       |            |       |
| 一全 | 水島清吉         |       |            |       |
| 一全 | 水島久馬男        |       |            |       |
| 一全 | 熊代多賀次        |       |            |       |
| 一全 | 磯島城太郎        |       |            |       |

**発起者**

西組講中　金五十十七円  
中組講中　金五十十三円  
奥谷講中　金五十二円  
飛谷講中　金四十十一円

風致保存とは？（碑には「風地」と刻まれているが間違いか）

風致地区とは、大正8年(1919)に制定された都市計画法において、都市内外の自然美を保存するために創設された制度。村の有志が、この宮を中心に自然の景観を保存し村民の安息の場にした。

## 帰米者とは？

明治30年代以降、アメリカへの農業労働者として出国し帰国した人。国策としてのブラジル移民は明治41年の笠戸丸に始まる。

大正8年(1919)風地保存の事業を行った際、アメリカ帰りの人6名が世話役をしている。近隣の地区からも、同時期に農業労働者として渡米した人たちが多い。

近くの例では

- ※1 東花尻の天神社の記念碑には、15名の在米の氏子の名がある。  
 ※2 庭瀬八幡神社の鐘の寄進者9名のうち高額寄進者の上位3名は在米者である。  
 (昭和34年鑄造の鐘に鑄込んであったが、現在の物は平成になって再鑄され、寄進者名は書かれていない)  
 ※3 藺崎神社(延友)の鐘の寄進者  
 ※4 中正院内の渡米者芳名碑 等々  
 この地域では現在でも、渡米した成功者の話が多くの集落で伝えられている。

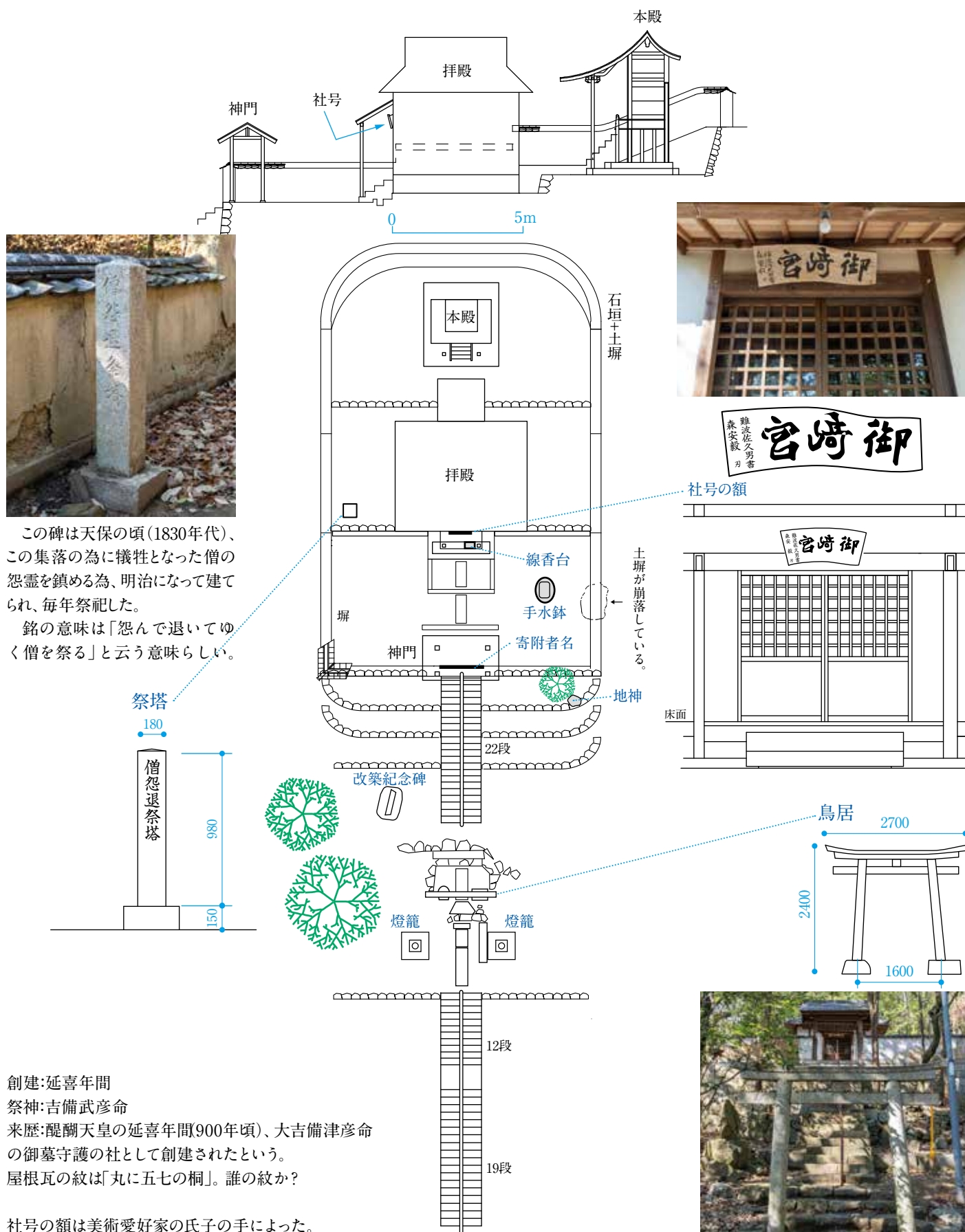


おんぎくう  
**5 御崎宮**

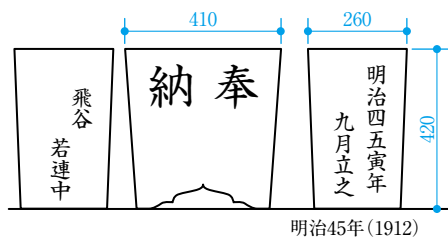
大吉備津彦命のお墓守護の社(西花尻354-1)





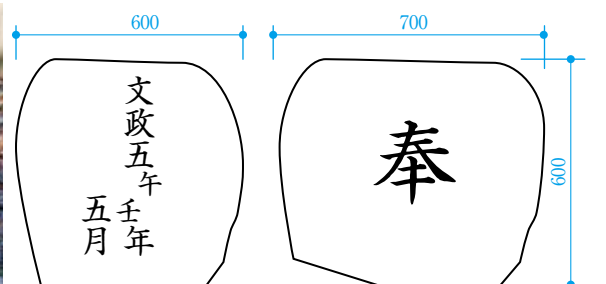


## 線香台



明治45年(1912)

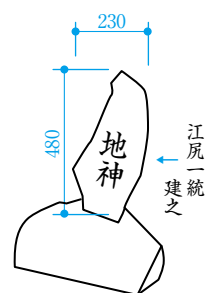
## 手水鉢



文政5年(1822)



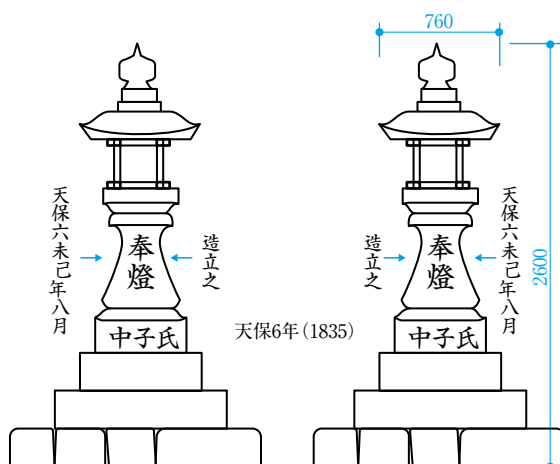
## 地神



## 燈籠(東側)



## 燈籠(西側)



天保6年(1835)

## 神門に掲げた寄附者名



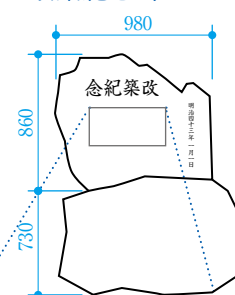
檜板(幅2m×高さ25cm)

| 神門 石段 |        | 改修寄附者芳名 |        |
|-------|--------|---------|--------|
| 金貳拾五円 | 矢尾 嘉文  | 金貳拾五円   | 吉井 弥市  |
| 金拾五円  | 藤原 香   | 金拾五円    | 吉井 照太郎 |
| 金拾貳円  | 山形 房吉  | 金拾貳円    | 近藤 政次郎 |
| 金拾貳円  | 吉井 弥市  | 金拾貳円    | 江尻 大助  |
| 金拾貳円  | 吉井 照太郎 | 金拾貳円    | 江尻 實五郎 |
| 金拾貳円  | 難波 傳次郎 | 金拾貳円    | 矢尾 卯三郎 |
| 金拾貳円  | 江尻 實五郎 | 金拾貳円    | 矢尾 富次  |
| 金拾貳円  | 矢尾 實五郎 | 金拾貳円    | 赤木 喜太郎 |
| 金拾貳円  | 森安 七十七 | 金拾貳円    | 矢尾 福次郎 |
| 金拾貳円  | 江尻 金   | 金拾貳円    | 氏子中    |
| 金拾貳円  | 森安 静太郎 | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 江尻 兼太郎 | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 富山 安太郎 | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 吉井 澤   | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 近藤 辰之  | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 近藤 辰之  | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 吉井 儀一  | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 森安 儀一  | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 内田 兵吉  | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 吉井 関造  | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 矢尾 重吉  | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 江尻 大助  | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 難波 彦四郎 | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 赤木 久次郎 | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 森安 静太郎 | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 江尻 益太郎 | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 内田 益太郎 | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 吉井 初治  | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 熊代 政次郎 | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 赤木 長十郎 | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 曾我 義男  | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 内田 岩吉  | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 磯島 勇太郎 | 金拾貳円    |        |
| 金拾貳円  | 昭和九年五月 | 金拾貳円    |        |

昭和9年(1934)



## 改築記念碑



明治43年(1910)

| 総代  |        | 明治四十三年一月一日 |        |
|-----|--------|------------|--------|
| 金五円 | 矢尾 福次郎 | 金十円        | 吉井 弥市  |
| 金五円 | 矢尾 福次郎 | 金十円        | 吉井 照太郎 |
| 金五円 | 矢尾 福次郎 | 金十円        | 近藤 政次郎 |
| 金五円 | 矢尾 福次郎 | 金十円        | 江尻 大助  |
| 金五円 | 矢尾 福次郎 | 金十円        | 江尻 實五郎 |
| 金五円 | 矢尾 福次郎 | 金十円        | 矢尾 卯三郎 |
| 金五円 | 矢尾 福次郎 | 金十円        | 矢尾 富次  |
| 金五円 | 矢尾 福次郎 | 金十円        | 赤木 喜太郎 |
| 金五円 | 矢尾 福次郎 | 金十円        | 矢尾 福次郎 |
| 金五円 | 矢尾 福次郎 | 金十円        | 氏子中    |